

施工説明書



ディーズパティオ ルポ A・B・C

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく組み立てをして頂くために、施工説明書をよくお読みください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

- ◆取付が不十分だと、使用中にはずれたり、転倒したりする恐れがあります。
この施工説明書に従い確実に固定してください。
- ◆強風時等、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
- ◆製品の組み立てには危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆組み付け前に仮組みを行い、製品に問題の無いことを確認してください。
- ◆コンクリートの養生は十分に行ってください。
- ◆製品表面に付着したコンクリートは速やかに除去してください。
- ◆施工の際には手袋を着用してください。
- ◆施工中についた汚れはすぐに拭き取ってください。
- ◆ディーズパティオルポの本体は、フィルムが巻かれた状態で梱包されています。汚れ防止のため、埋め込みの際はフィルムは剥がさずに施工し、コンクリートが硬化してから壁を傷つけないように丁寧に剥がしてください。
- ◆電気・配線工事には資格が必要です。有資格者による工事を行ってください。

使用工具と材料

施工に際して下記の工具と材料を準備してください。

- ◆コンクリート / モルタル（基礎工事に使用）
- ◆電動ドライバー（FRP製品の取付や配線穴あけに使用）
- ◆Φ3.2ドリルキリ（FRP製品取付の際、下穴あけに使用）
- ◆Φ6ドリルキリ（水抜き穴加工に使用）
- ◆Φ20程度のホールソー（配線穴あけに使用）
- ◆接着剤 / シリコン系コーキングタイプの接着剤（笠木固定と支柱固定に使用）

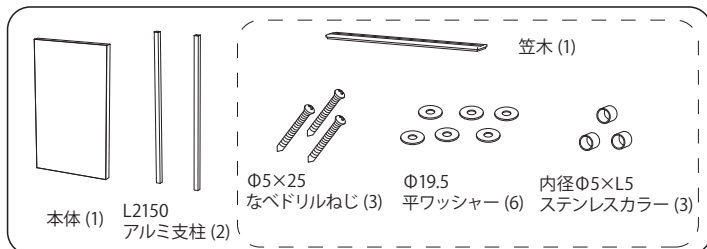
/ 2液性エポキシ接着剤・5分～30分硬化型（オプション製品取付に使用）



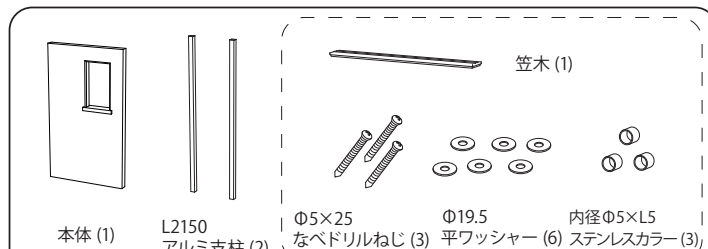
溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

梱包内容

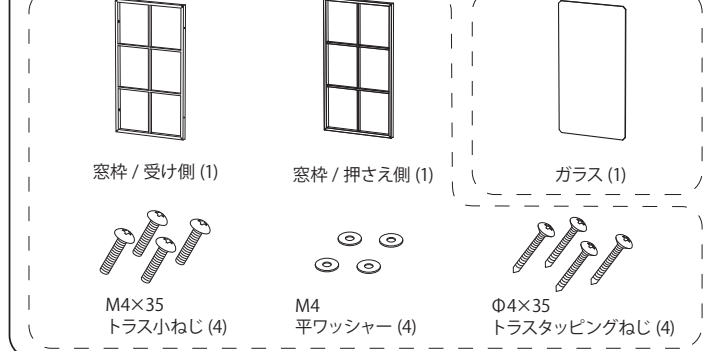
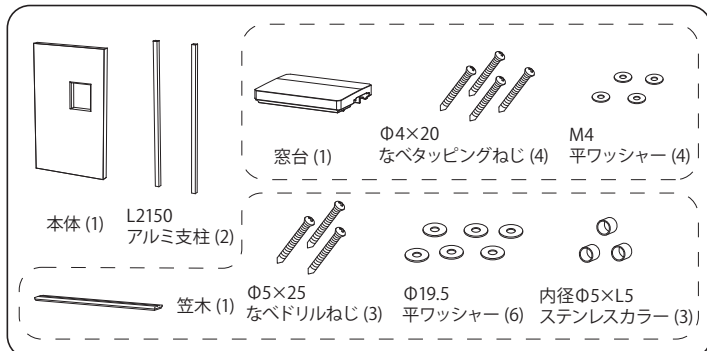
< ルポ A >



< ルポ B >

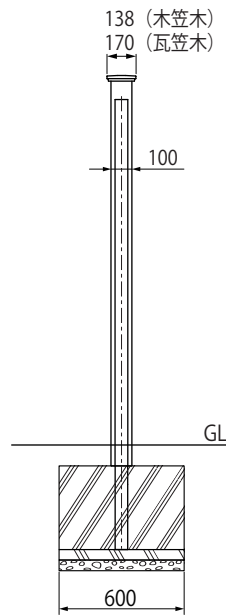
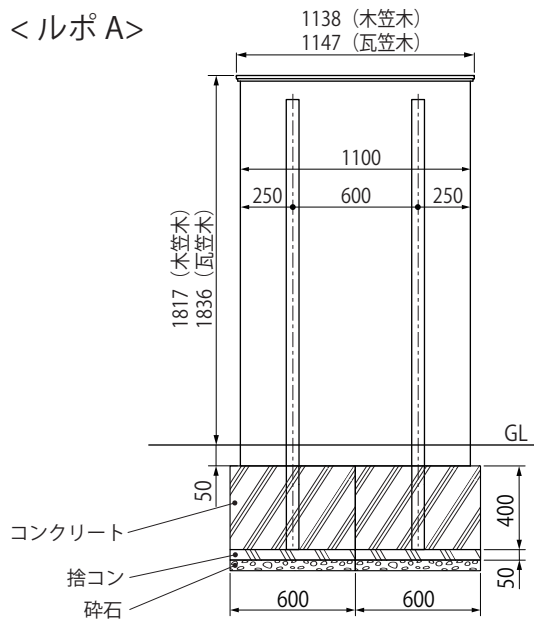


< ルポ C >

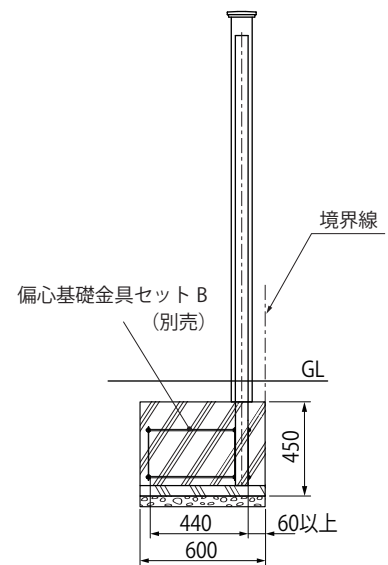


■ 施工寸法図 (寸法単位:mm)

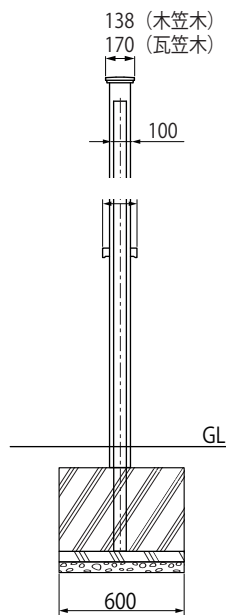
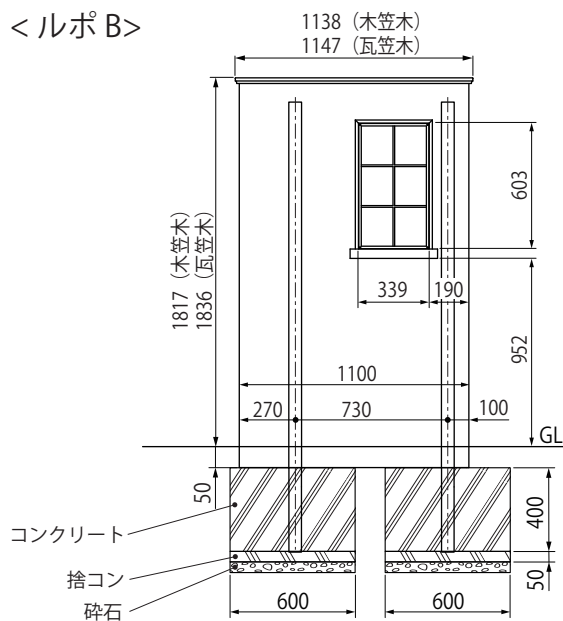
< ルポ A >



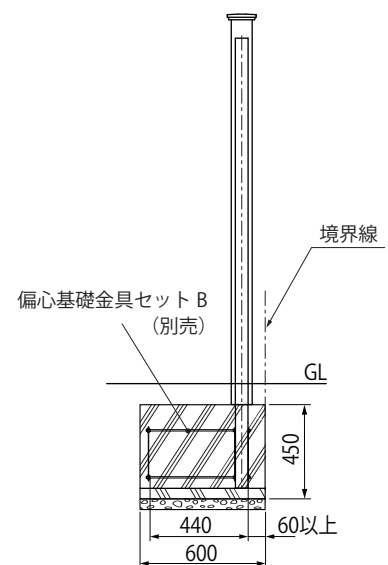
隣地境界線への施工 (P.7,8 参照)



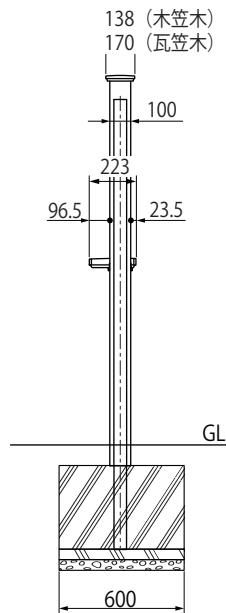
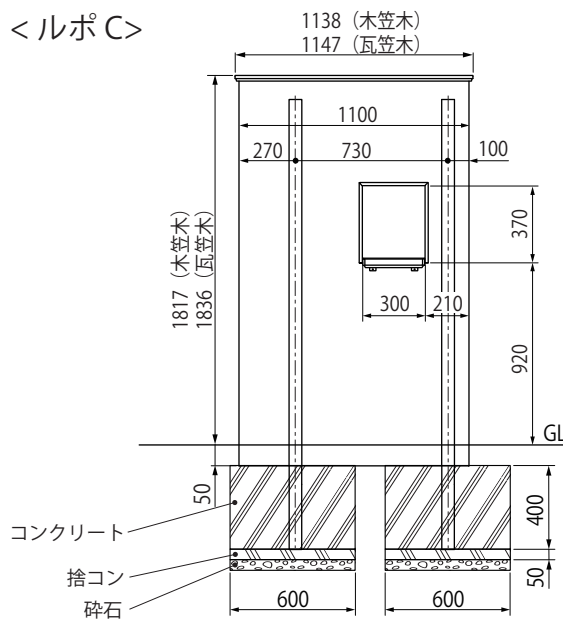
< ルポ B >



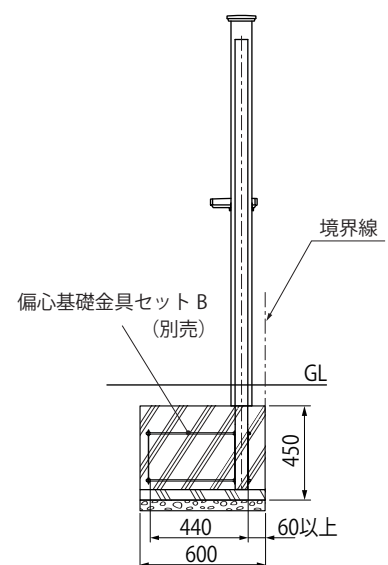
隣地境界線への施工 (P.7,8 参照)



< ルポ C >



隣地境界線への施工 (P.7,8 参照)



◆P. 3~4の 1 ~ 5 の手順は、ルポA・B・C 全て共通です。

1 P.2 の施工寸法図に従って基礎穴を設け、碎石を敷いた上に捨コンを打ちます。

2 本体にアルミ支柱と笠木脱落防止用ねじを取り付けます。



溝がある支柱の面とルポの正面が平行になるように挿入してください。



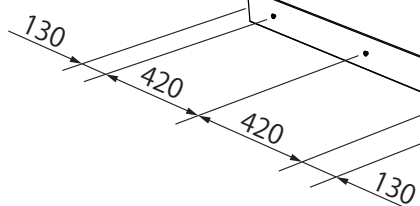
溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

シリコン系接着剤

溝

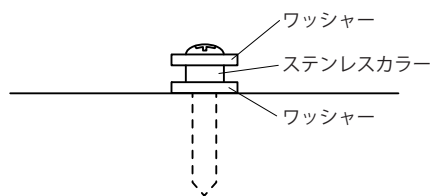
※溝の方向に注意

アルミ支柱先端のキャップ上に接着剤を盛り上げるように塗り、本体に差し込む。



<ねじ部詳細>

強く締め込まず、ワッシャーで止まったところで終える。



<笠木脱落防止用ねじ取付>

ステンレスカラー

M5.5 平ワッシャー

Φ5×25
なべドリルねじ

3 配線を通す場合は、必要箇所に穴をあけてワイヤー等を通します。配線穴はアルミ支柱のセンター付近にあけてください。

配線

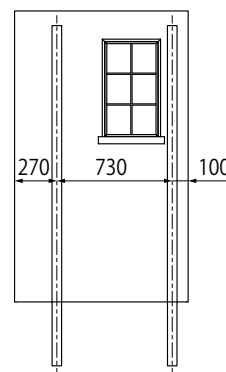
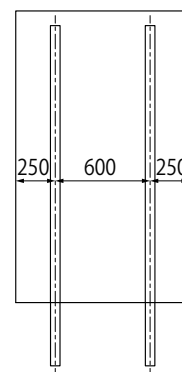
Φ20 程度

差し込んだ支柱のセンターをめがけて穴をあける。

アルミ支柱センター位置寸法図

<ルポ A>

<ルポ B・C 共通>



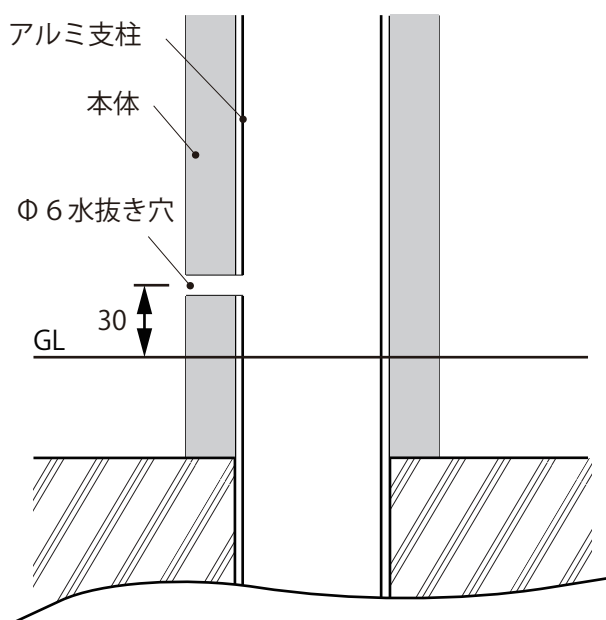
※図はルポ B

- 4** 基礎穴にアルミ支柱を入れ、壁を建て込みます。このとき、壁の水平と垂直を出し、高さを確認した後に、添え木などで仮固定し、基礎穴にコンクリートを流し込みます。手順3でワイヤーを通した場合は、建て込み前に配線を通してください。基礎のコンクリートが完全に硬化するまでしっかりと養生し、硬化後に支柱を目掛けて水抜き穴を目立たない面の下図の位置にあけてください。

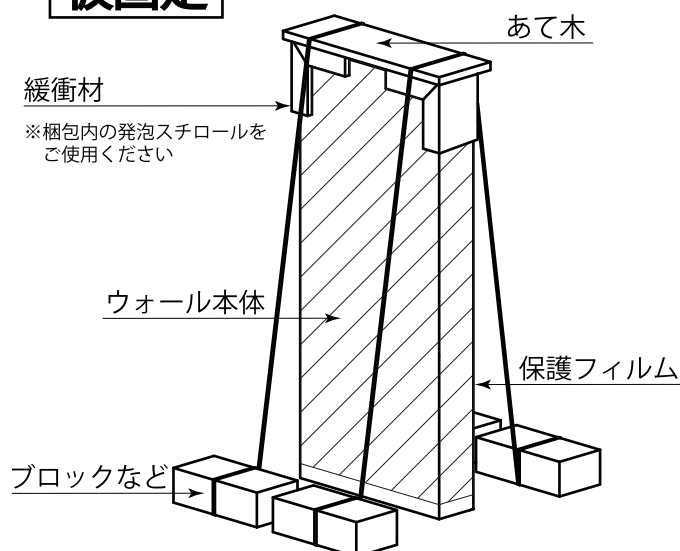
水抜き穴



水抜き穴は支柱内部に到達するようにあけてください。水抜き穴は両方の支柱にあけてください。柱内に配線が通っている場合は注意して穴をあけてください。



仮固定

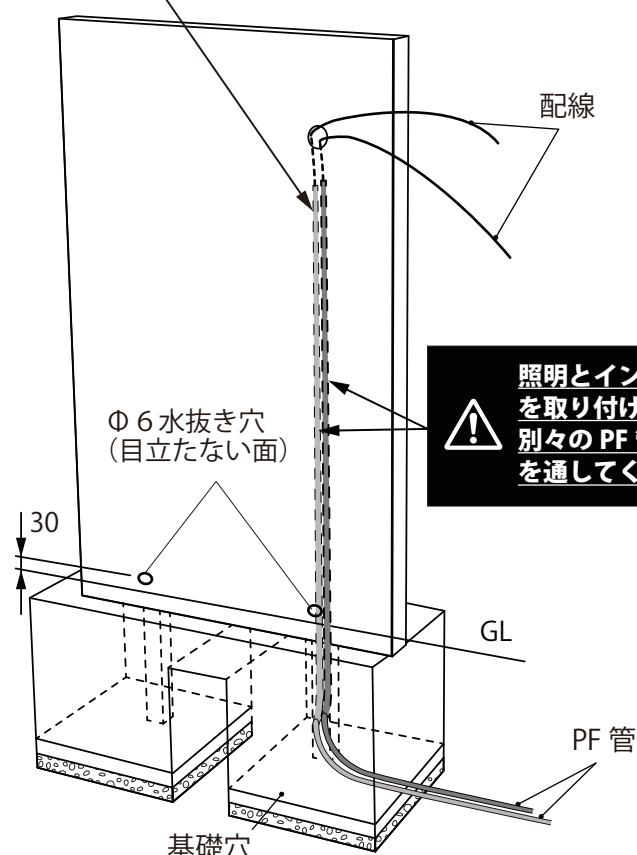


※クランプ等の固定金具は使用不可

配線



PF管は支柱上部まで持ち上げてください。



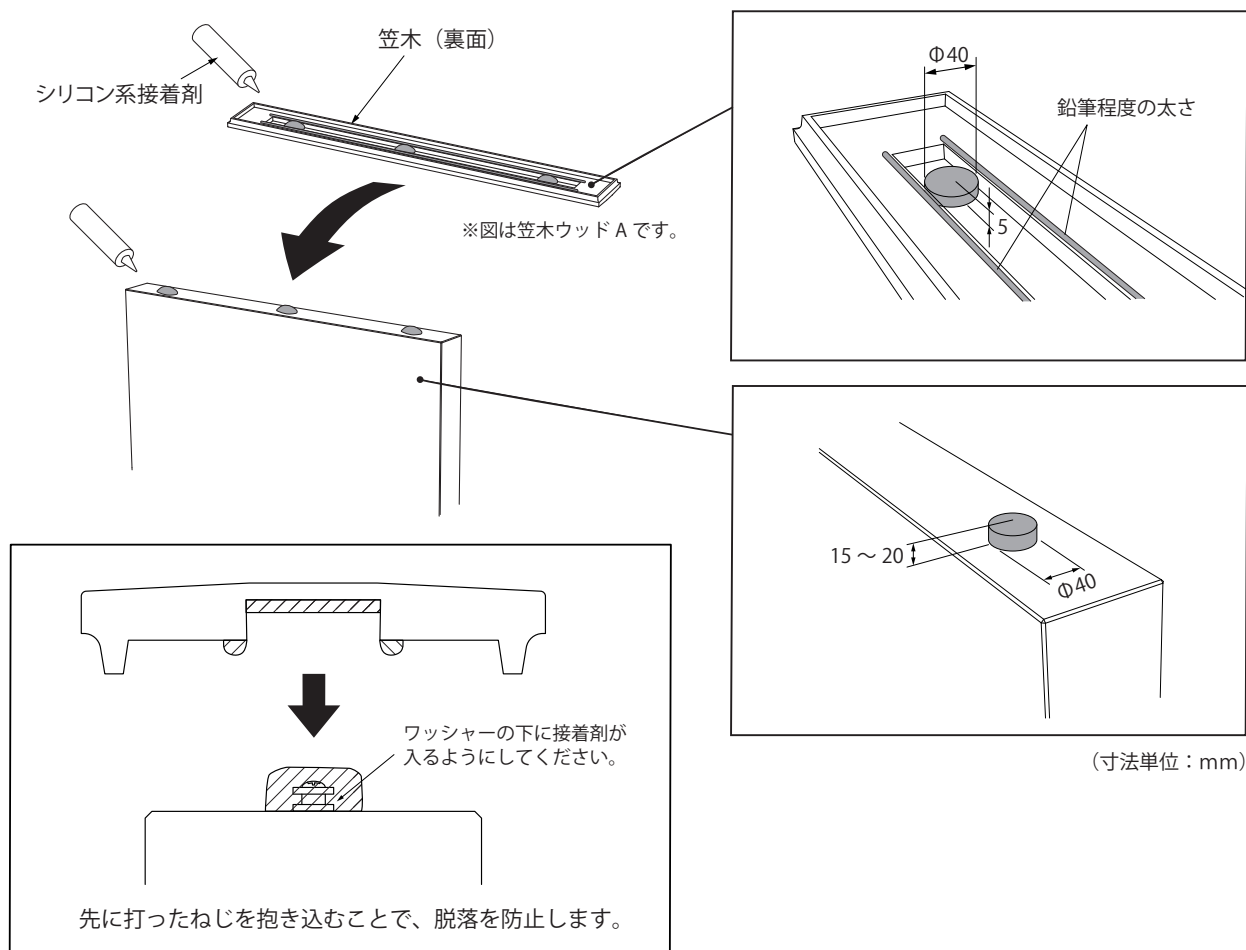
照明とインターホンを取り付ける場合、別々のPF管に配線を通してください。

※照明やインターホンの取付は、10-11 ページを参照してください。

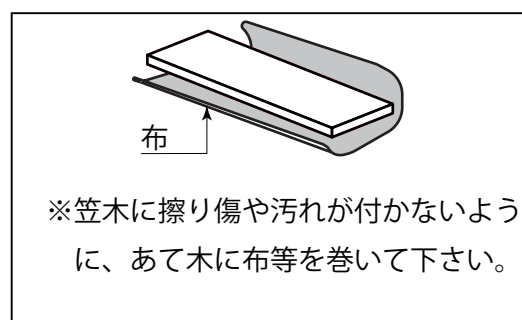
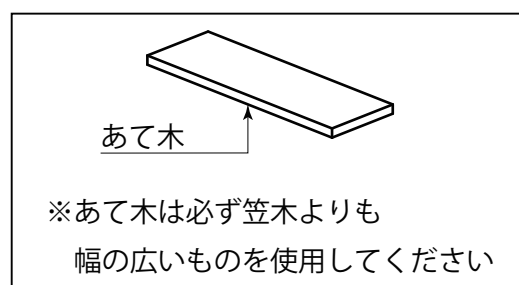
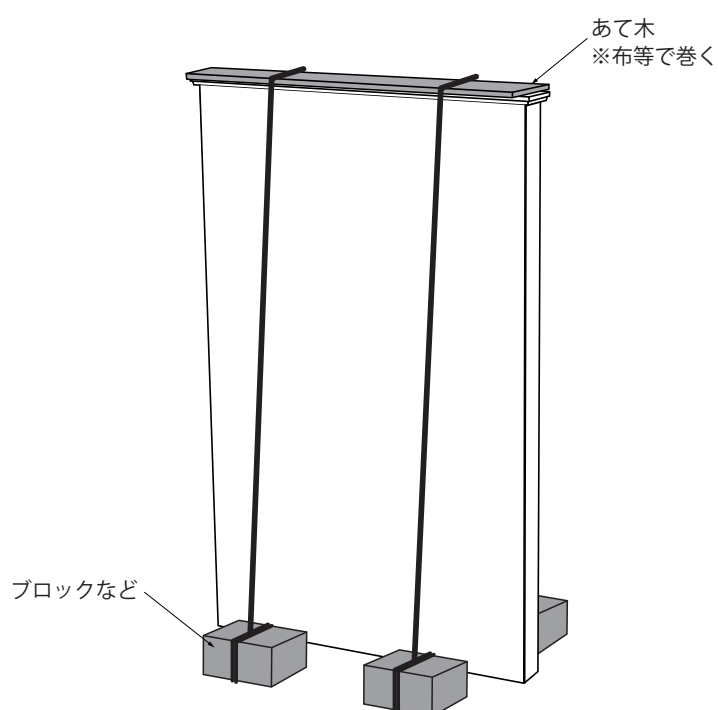


※配線は必ず本体の施工前に行ってください。
 ※照明とインターホンを取付ける場合、互いの配線が接触しないように別々のPF管に配線を通してください。
 ※AC100Vの電気配線に関わる工事は必ず有資格者が行ってください。

- 5** 基礎硬化後、本体天端と笠木裏面にシリコン系接着剤を塗り、笠木を貼り付けて下図を参考に仮固定し、十分に養生してください。
(養生期間はご使用の接着剤の取扱説明書等に従ってください。)



<仮固定方法の例>

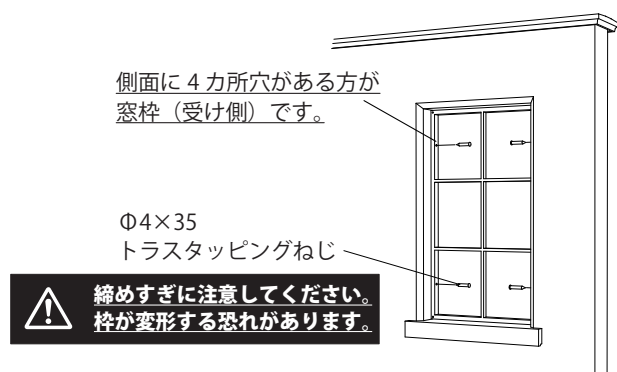


※ルポ A の施工は以上です。

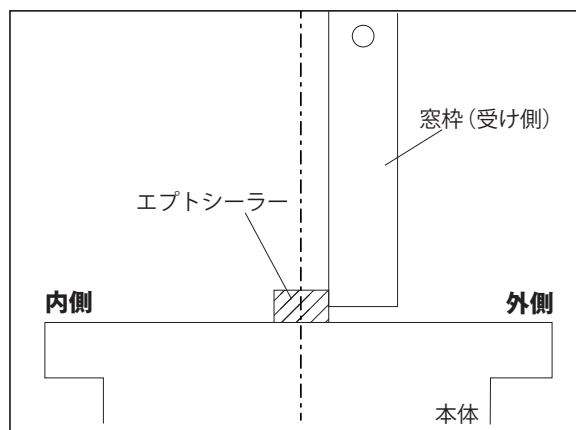
オプションを取り付ける場合 P.9 へ

◆ ルポBの施工

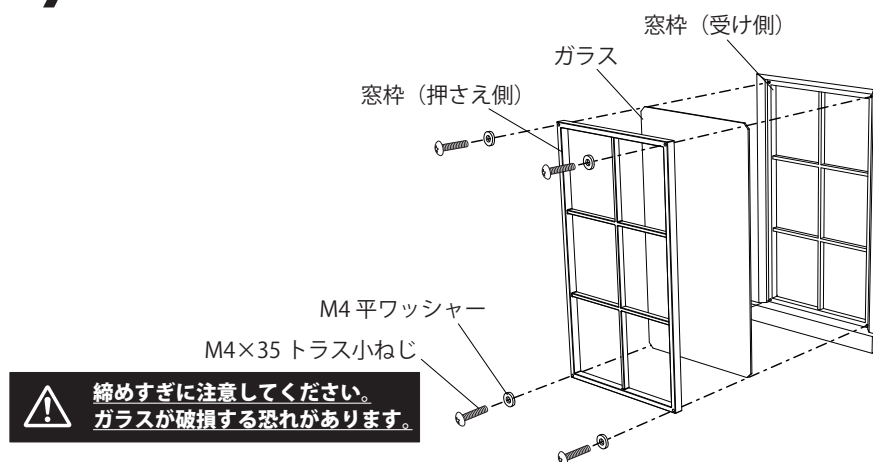
6 窓枠（受け側）を外側からエプトシーラーに当てる形に取り付けます。



※本体と窓枠の隙間が四方均等になるように位置決めしてください。



7 ガラスと窓枠（押さえ側）を取り付けます。



※窓枠を固定する際は、必ず4カ所のねじを仮締めしてから、均等に締め込んでください。

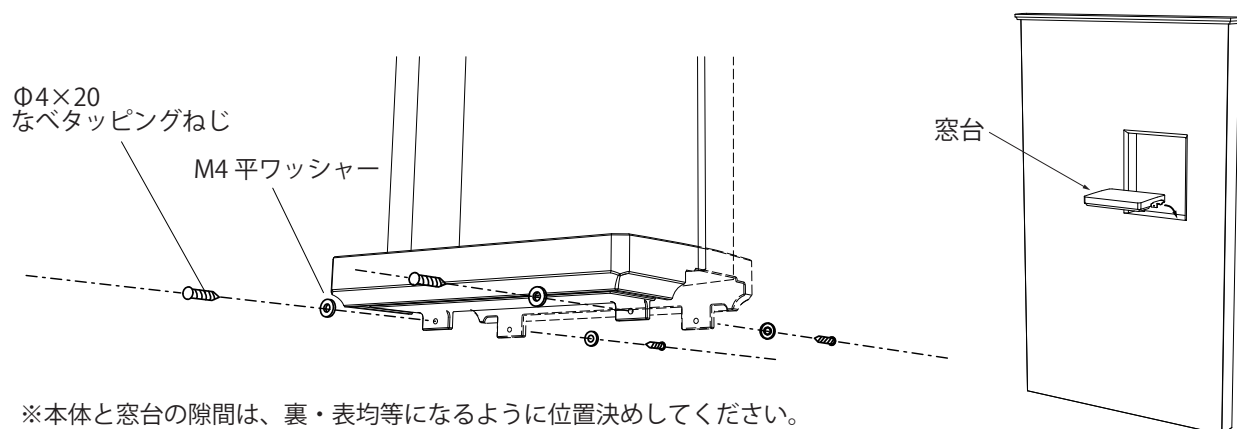
※ねじが穴に入らない場合は、手順1で取り付けしたΦ4×35タッピングねじをゆるめて微調整してください。

※ルポBの施工は以上です。

オプションを取り付ける場合 P.9 へ

◆ ルポCの施工

6 Φ3.5の下穴をあけてから、窓台の水平を保った状態でタッピングねじで固定します。



※本体と窓台の隙間は、裏・表均等になるように位置決めしてください。

※ルポCの施工は以上です。

オプションを取り付ける場合 P.9 へ

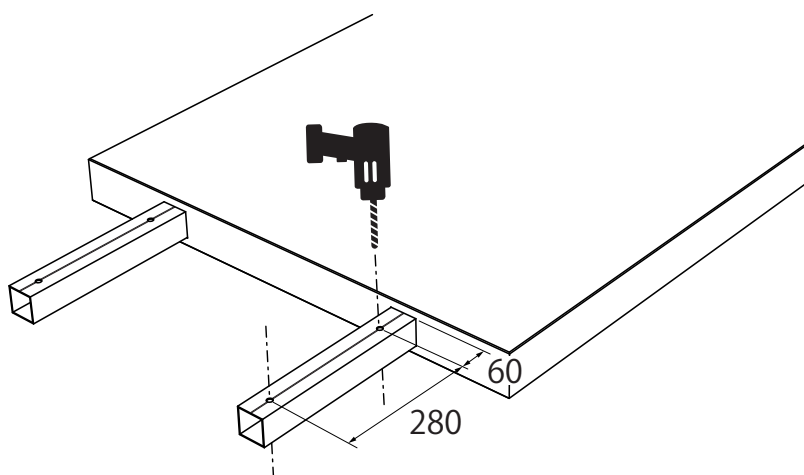
◆ 隣地境界への施工

P.7~8の1～5の手順は、ルポA・B・C 全て共通です。

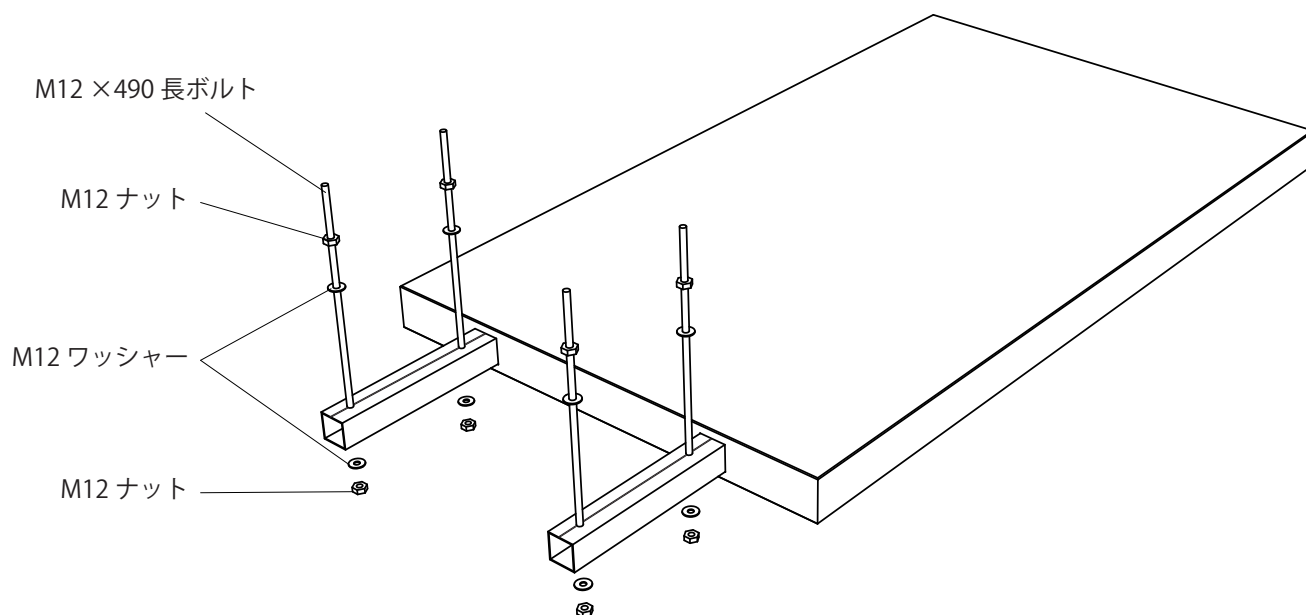
※隣地境界への施工では、偏心基礎金具セットB（別途）が必要です。

1 P.3 の手順1・2と同様に基礎穴を設け、碎石を敷いた上に捨コンを打ち、アルミ支柱と笠木脱落防止用ねじを取り付けます。

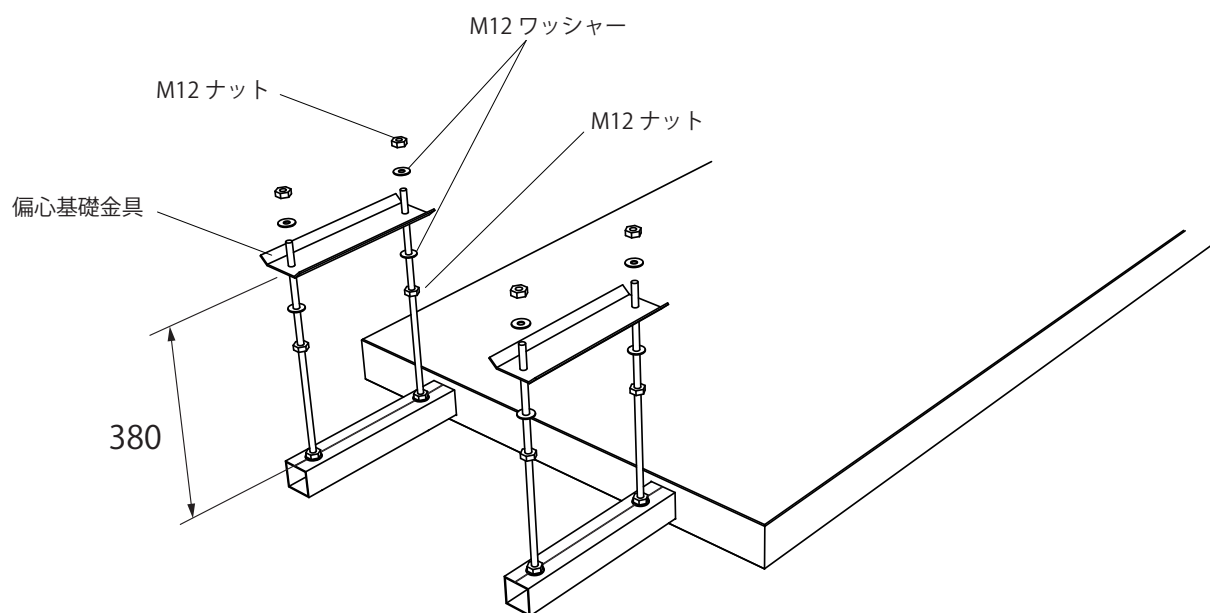
2 下図に従ってアルミ支柱にΦ12の貫通穴をあけます。



3 アルミ支柱にナットとワッシャーでM12 長ボルトを固定します。



4 M12 長ボルトに対して、偏心基礎金具の両側からナットとワッシャーで固定します。

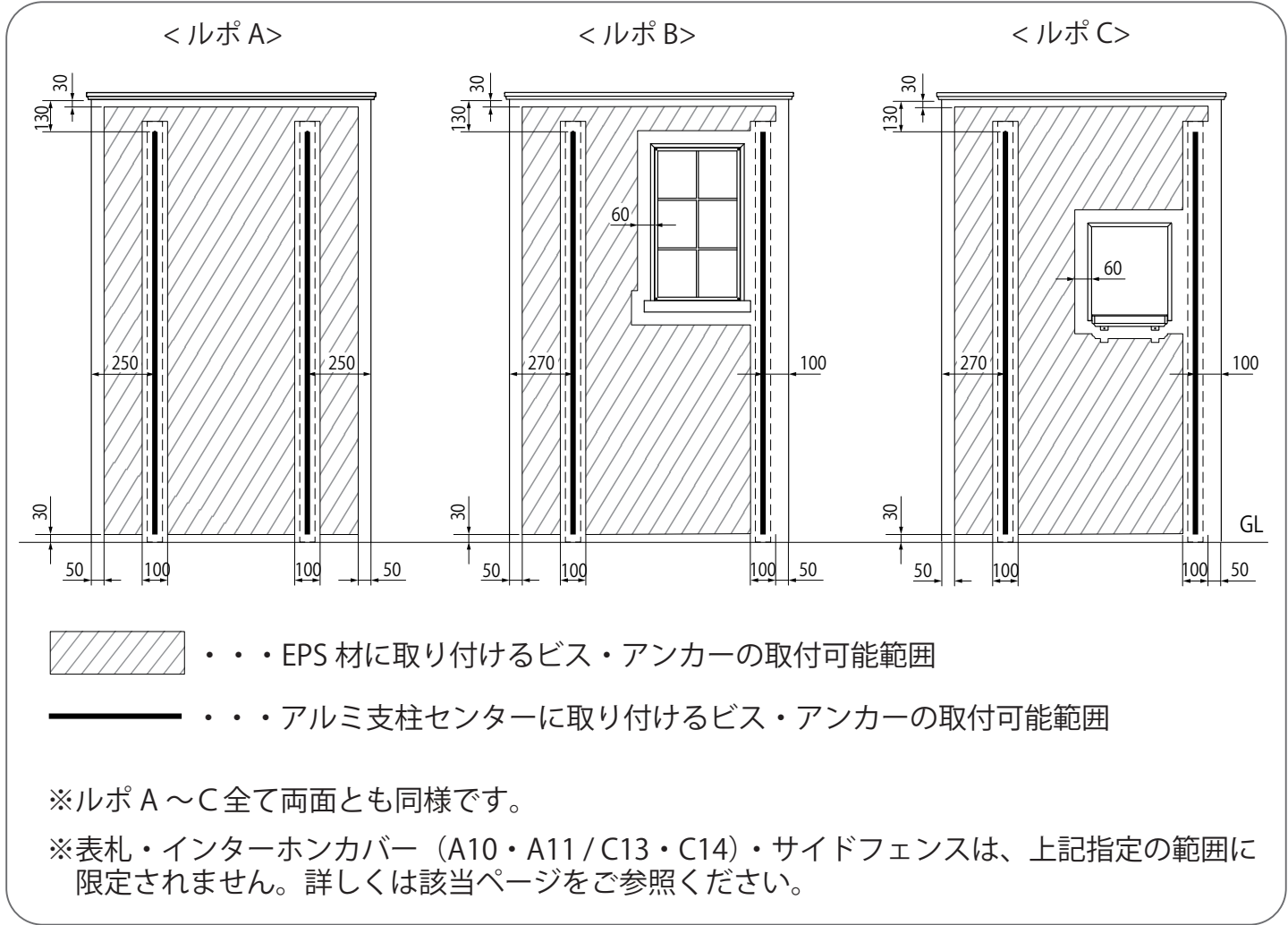


5 P.3～5 の手順 3～5 と同様に施工して完成です。

◆ オプションの取付

アルミ支柱に取り付けるオプションとEPS材に取り付けるオプションの2つに分かれます。
下図に従ってオプションを取り付けてください。

オプション取付位置図 (単位:mm)



取付可能オプション一覧 ※オプションによって取付可能な位置が異なります。

ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱
10	ウォールウォッシャー (100V、12V)	該当ページをご参照ください。	
10	グラスランプ	×	○
11	表札 (A-12 は取付不可)	該当ページをご参照ください。	
12	インターホン (市販)	×	○
12	インターホンカバー (A10・A11/C13・C14)	該当ページをご参照ください。	
13	インターホンカバー (ウッドタイプ A/R 外付)	×	○
13	壁掛ポスト	○	×

ページ	オプション名称	EPS 材	アルミ支柱
14	トレリス	○	×
14	サイドフェンス	該当ページをご参照ください。	
15	フラワーハンガー ミニフック ホースハンガー	×	○
15	ツールハンガー Type A/B	○	×
16	ウォールシェルフ + シェルフホルダー	○	×
	プランターバスケット	○	×

※プランターバスケットの取付け方についてはプランターバスケット A 取付説明書をご確認ください。

ウォールウォッシャー 100V / 12V

取付に必要な部材	必要数	封入数
カールプラグ取付セット A	1 セット	2 本

別途で準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

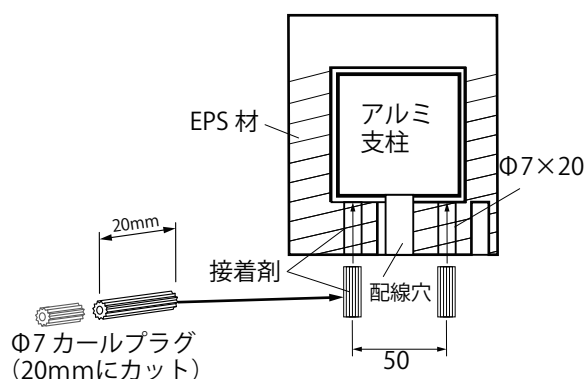


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

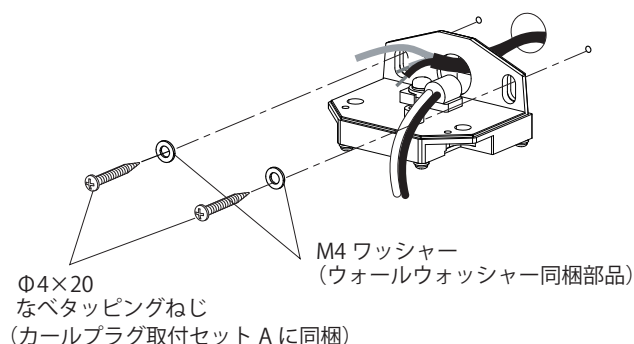
※下図以外の詳しい取付項目につきましては、ウォールウォッシャーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

- [1] 製品内のアルミ支柱に向けて $\Phi 7 \times 20$ の穴を2箇所あけ、接着剤を充填してください。20mmに切断したカールプラグの外周にも接着剤を塗り穴に押し込みます。



- [2] [1]の接着剤が十分に硬化した後にウォールウォッシャーを取付けます。

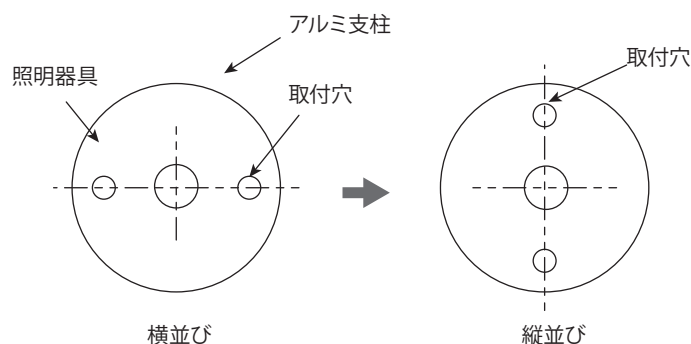


グラスランプ (全種)

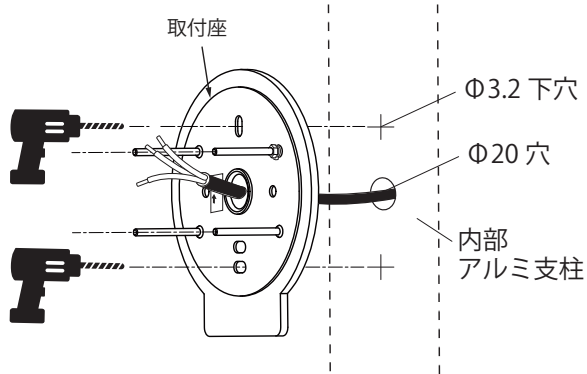
	必要数
タッピングねじ (グラスランプに同梱)	2

※各種グラスランプは、**アルミ支柱にのみ**取付けできます。
それ以外の場所には取付け出来ませんのでご注意ください。

※機種によって取付方向が異なります。
下図のように取付穴が縦に並ぶように取付けてください。



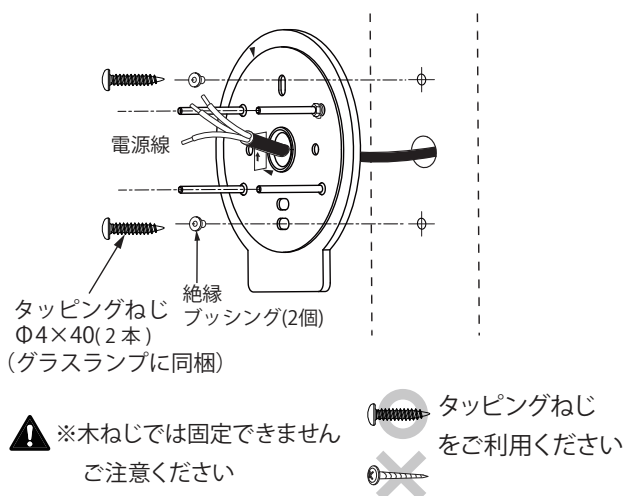
- [1] 壁面にあけた配線穴に取付座の穴を合わせ、
下図の2ヶ所にΦ3.2のキリで穴をあけます。



※ドリルの刃が内部の配線を傷つけないように
十分注意して穴をあけてください。

※図はガラスランプ N1

- [2] 取付面に取付座を固定します。



以降の取付方法はガラスランプ取付説明書をご参照ください。

表札

※A-12は取り付けられません。

	必要数	封入数
パイプセット A	1 セット	4 本

別途で準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

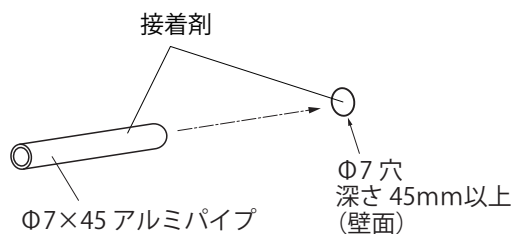


**溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、
絶対に使用しないでください。**

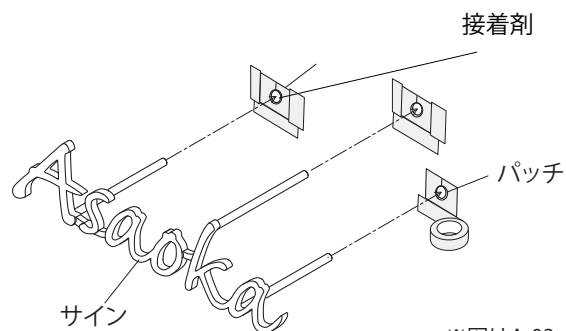
※下図以降の詳しい取付工程につきましては、各種表札に同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ7アルミパイプが内部アルミ支柱に干渉する場合は、アルミパイプを長さ20mmに切断して
ください。また、それに合わせて表札の足も切断・調節してください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



- [2] アルミパイプの中に接着剤を充填し、
表札の足を挿入して取り付けます。



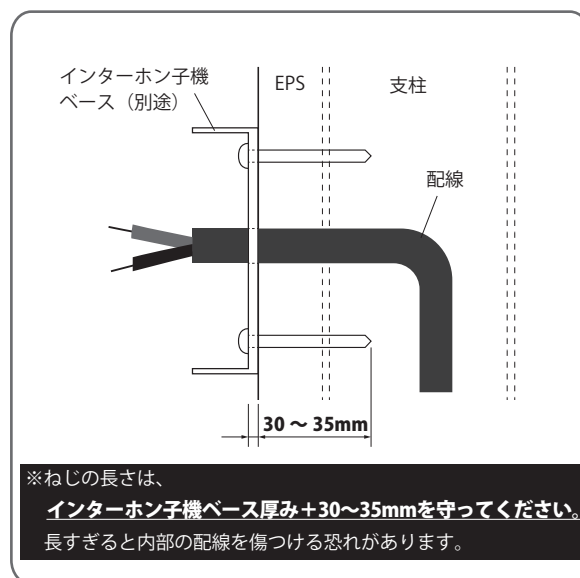
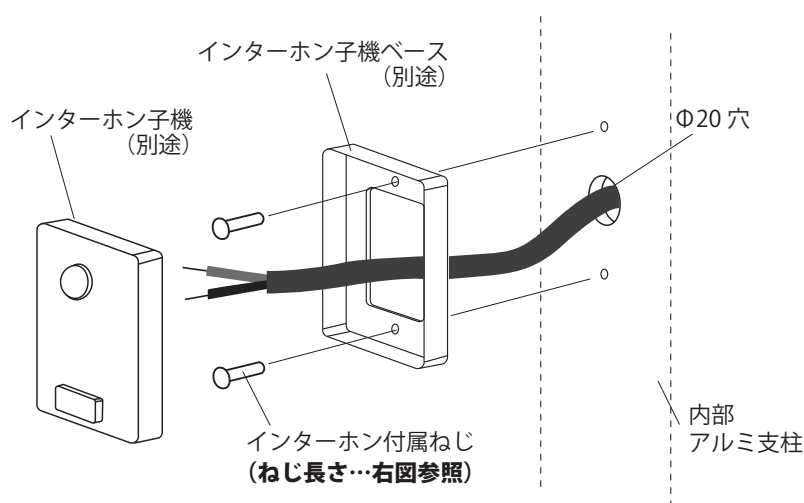
※図はA-03

インターホン（市販）

別途ご準備いただく物	個数
インターホン子機ベース厚み+30～35mmのステンレス製ねじ (インターホン付属ねじが上記に該当しない場合のみ)	2

※インターホンは、**本体に挿入したアルミ支柱センターにのみ**取付が可能です。
それ以外の場所には取付が出来ませんのでご注意ください。

※組立方法については、お手持ちのインターホンの取付説明書をご参照ください。



インターホンカバー（A10・A11/C13・C14）

	必要数	封入数
パイプセット A	1 セット	4 本

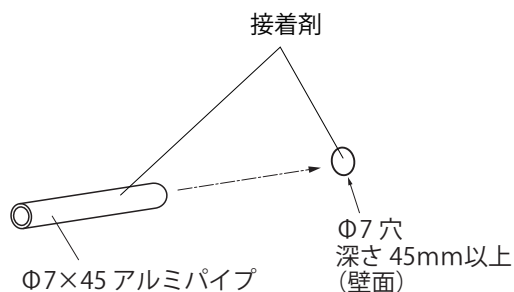
	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5～30 分硬化型)	-



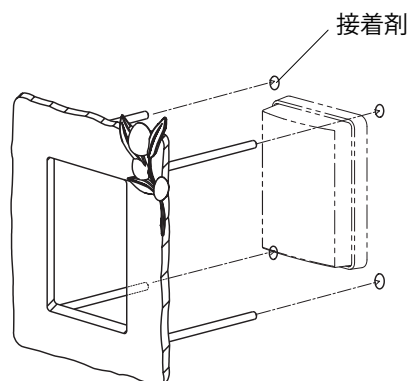
溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、インターホンカバーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
アルミパイプの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



- [2] アルミパイプの中に接着剤を充填し、
インターホンカバーの足を挿入して取り付けます。



※図はA-10

インターホンカバー（ウッドタイプ A/R 外付）

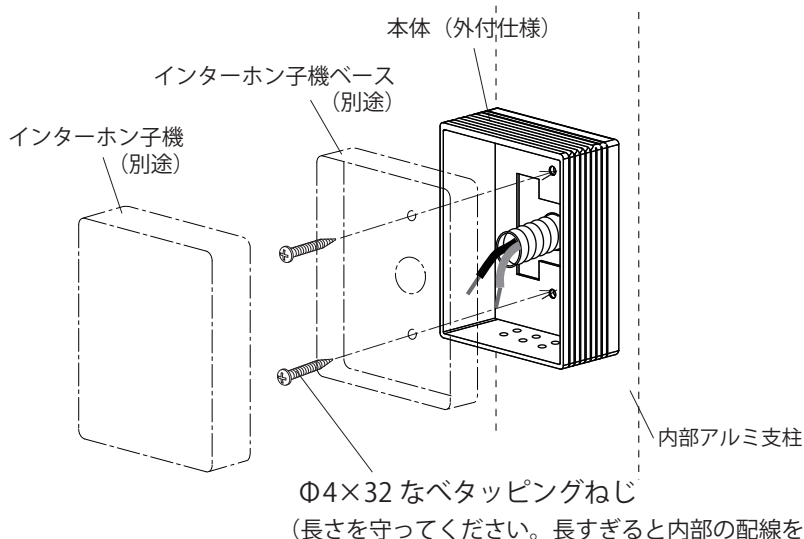
	必要数
Φ4×32 なベタタッピングねじ（ステンレス製）	2 本
2 液性エポキシ接着剤（5～30 分硬化型）	-



溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

※**同梱のカールプラグは使用しません。**ご注意ください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、ウッドタイプ A/R に同梱の取付説明書をご参照ください。



壁掛ポスト

	必要数	合計封入数
樹脂アンカーセット A	2 セット	4 個

	個数
2 液性エポキシ接着剤（5～30 分硬化型）	-

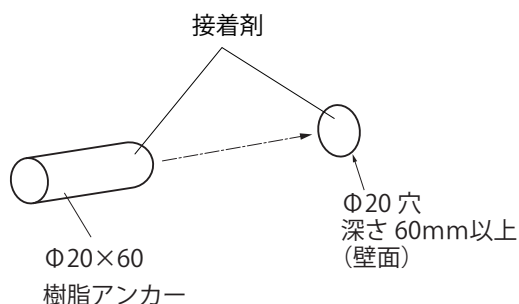


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

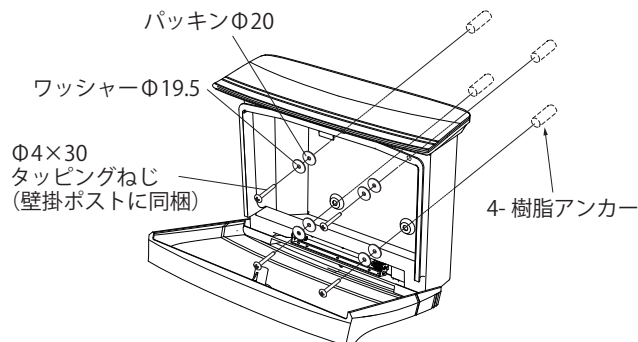
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、壁掛ポストに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後、
取付けた樹脂アンカーにΦ3.2の下穴をあけ、
Φ4 タッピングねじでポストを取り付けます。



※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

トレリス



溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

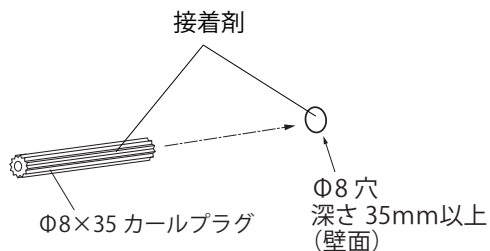
取付に必要な部材	必要数	合計封入数
タッピングビス取付セット A	2 セット	6 本

別途ご準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

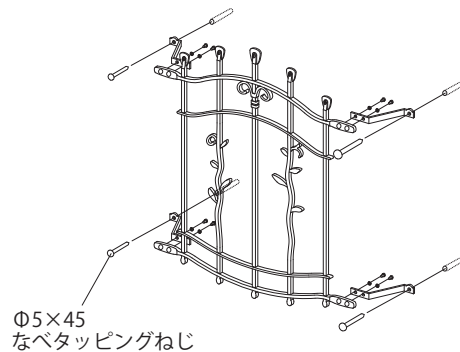
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、トレリスに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※必ず、P.8のオプション取付位置図に従って取り付けてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。カールプラグの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] トレリスを取り付けます。



※図はトレリスTypeA-S

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

サイドフェンス

	必要数
Φ8×35 カールプラグ	2 本
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

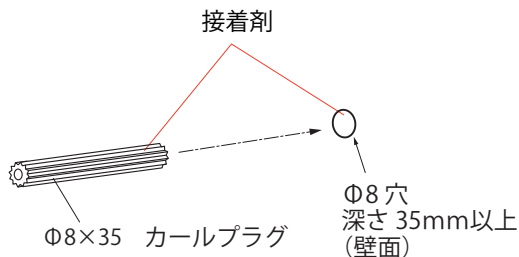


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

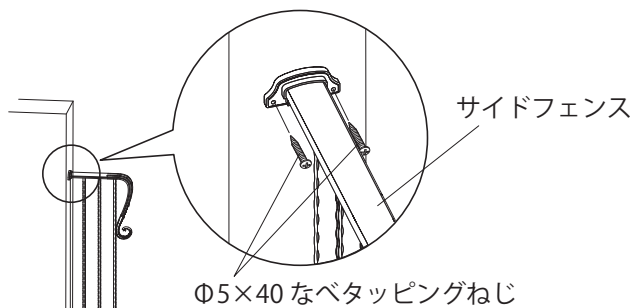
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、サイドフェンスに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※サイドフェンスの足は、取付説明書に従って確実に基礎で固定してください。基礎固定が不十分だとフェンスがぐらついたり倒れる場合があります。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。カールプラグの外周にも接着剤を塗り、穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後にサイドフェンスを取り付けます。



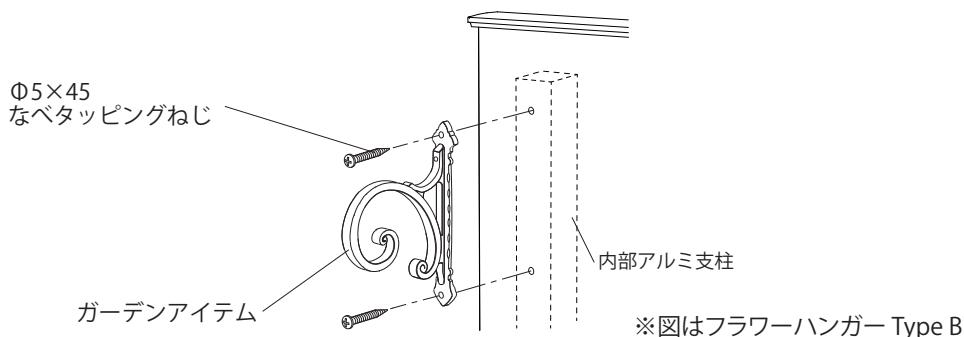
※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うとカールプラグが共回りする恐れがあります。

ガーデンアイテム (フラワーハンガー、ミニフック、ホースハンガー)

取付に必要な部材	必要数	封入数
タッピングビス取付セット A (カールプラグは使用しません)	1 セット	3 本

※上記のガーデンアイテムは、**本体に挿入したアルミ支柱センターにのみ**取付が可能です。
それ以外の場所には取付が出来ませんのでご注意ください。

※下図以外の詳しい取付工程につきましては、各種アイテムに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。



ガーデンアイテム (ツールハンガー TypeA/B)

取付に必要な部材	必要数	封入数
タッピングビス取付セット A (カールプラグは使用しません)	1 セット	3 本
樹脂アンカーセット A	1 セット	2 個

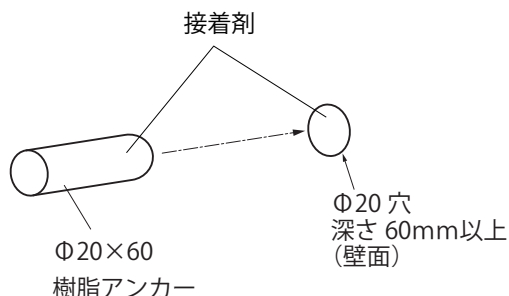
別途ご準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

⚠ 溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

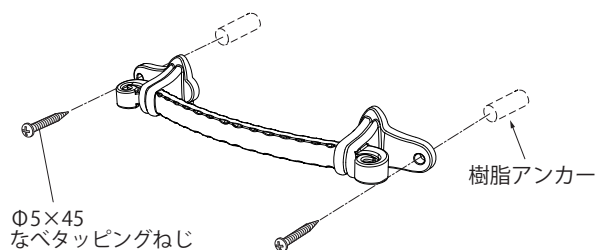
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、ツールハンガーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後、
取付けた樹脂アンカーにΦ4.3の下穴をあけて、
Φ5タッピングねじでツールハンガーを取り付けます。



※図はツールハンガーTypeB

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

ガーデンアイテム (ウォールシェルフ+シェルフホルダー)

取付に必要な部材	必要数	合計封入数
樹脂アンカーセット A	シェルフホルダーが 1 個の場合 2 セット	4 本
	2 個の場合 3 セット	6 本

別途で準備いただく物	個数
2 液性エポキシ接着剤 (5~30 分硬化型)	-

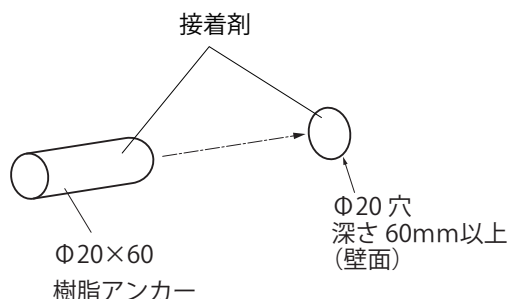


溶剤系の接着剤は内部の発泡が溶けるため、絶対に使用しないでください。

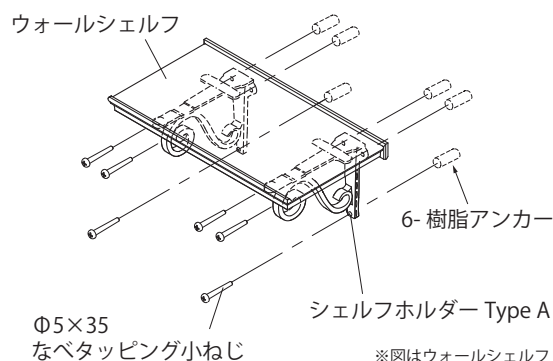
※下図以外の詳しい取付工程につきましては、シェルフホルダーに同梱の取付説明書内の該当項目をご参照ください。

※Φ20の樹脂アンカーが内部アルミ支柱に干渉しないように位置決めしてください。

- [1] 取付位置に穴をあけて接着剤を充填します。
樹脂アンカーの外周にも接着剤を塗り、
穴に押し込みます。



- [2] [1] の接着剤が十分に硬化した後、
取付けた樹脂アンカーにΦ4.3 の下穴をあけて、
Φ5タッピングねじでウォールシェルフを取り付けます。



※図はウォールシェルフ 1M と
シェルフホルダー TypeA

※必ず2液性のエポキシ接着剤をご使用いただいたうえで十分に乾燥させてください。それ以外の接着剤を使用したり、乾燥が不十分なまま取付を行うと樹脂アンカーが共回りする恐れがあります。

工事店様へ

- ◆必ず、本書の記載内容に従い施工を行ってください。
- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆施工終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。

〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
株式会社 傳來工房

DPR-IM1
2025.11A

